

# 静岡県スタートアップ支援戦略2025

～ スタートアップに選ばれる地域へ～

令和7年2月17日



# 現状と課題

- デジタル化の対応、労働人口の減少、生産性向上など、**県内中小企業等が直面する課題を解決し、既存産業の革新や新たなビジネスを創出**するためには、**スタートアップの革新的技術が必要**
- スタートアップは、交通・福祉・環境・教育・危機管理など、**自治体が抱える様々な社会課題の解決**にも貢献し得る存在
- 全国のスタートアップは**大都市圏に集中**(約6割が東京)。また、県内スタートアップは**西部地域に偏在**(108社/180社)
- 本県の**開業率・廃業率**はともに**全国平均を下回っている**。

## スタートアップ数

<全国> ※R6.12月時点

(単位：社)

区分	1位	2位	3位	4位	5位	9位	計
都道府県	東京	大阪	神奈川	京都	愛知・福岡	静岡	—
所在数	8,135	614	564	351	344	180	12,745
比率	64.0%	4.8%	4.4%	2.8%	2.7%	1.4%	100%

<本県> ※R6.12月時点

(単位：社)

区分	伊豆・東部	中部	西部	計
所在数	23	49	108	180
比率	12.8%	27.2%	60.0%	100%

## 開業率・廃業率

※ カッコ内の数字は全国順位 (廃業率は低い方からの順位)

区分		2018	2019	2020	2021	2022	2023
開業率	全国	4.4	4.2	5.0	4.3	3.9	3.9
	静岡県	4.0(21)	3.9(23)	4.6(20)	3.8(23)	3.6(18)	3.5(23)
廃業率	全国	3.5	3.4	3.2	3.1	3.2	3.9
	静岡県	3.3(29)	3.4(26)	3.2(21)	3.2(33)	3.3(33)	3.5(30)

# スタートアップ支援の目的と取組方針

## スタートアップ支援の目的

- 県内中小企業が抱える課題解決
  - ・ 地域企業との協業による既存事業の革新
- 新たな産業の創出
  - ・ スタートアップとの融合による新たな産業の創出
- 雇用の創出
  - ・ 多様な働き方の選択肢の拡大
- 社会課題の解決
  - ・ 県内自治体等が抱える様々な社会課題の解決

## 静岡県スタートアップ支援戦略の策定

効果的・戦略的な支援のため戦略を策定（R5年9月）

### <目指す姿>

- スタートアップへの理解が浸透し、**スタートアップ型起業を目指す者が多く生まれる地域**
- 多彩な地域資源を活用し、**成長を目指してスタートアップが活躍できる地域**
- 産学官金の連携による**コミュニティが、県内各地で形成される地域**

## 令和7年度取組方針

- ◎ **資金調達支援と各施策の連携**を図り、スタートアップの支援や誘致を強力に推進

**資金調達支援**（ベンチャーキャピタルと連携した資金面からの支援）

**創出** 県内企業・自治体とのマッチング

**連携** 各地域におけるコミュニティ形成支援

**育成** 実証実験への支援、起業家教育

**誘致** 東部・伊豆地域等への呼び込み

# 静岡県スタートアップ支援戦略の見直し

- R5年9月に策定した戦略の3本の柱「創出」「育成」「連携」に「誘致」を追加
- R7年度以降の新たな施策に合わせて「目標/KPI」を見直し

## 見直し前

### 静岡県スタートアップ支援戦略

概要版

#### 1 施策方針

- 県内で新たなスタートアップを創出・育成する
- 県外からスタートアップを呼び込むための環境を整備する

#### 2 重点取組

- ① 結びつける施策に力を入れる（支援に結びつける、県内企業・自治体・投資家とのマッチング等）
- ② まずは成功事例をつくり、ロールモデルを横展開する

#### 3 戦略の3つの柱

- <創出> スタートアップを生み出す仕組みづくり
- <育成> スタートアップへの出口を意識したノウハウ提供
- <連携> スタートアップが集まるコミュニティの提供

#### 4 必要な機能と主な施策

※ 戦略には31の施策を盛り込む

柱	必要な機能	主な施策
創出	①起業家教育	○高校生や大学生等が参加する地域部活動方式による広域的な「起業部」の創設 ○スタートアップ経営者等による出前授業や県先端産業プロジェクト等の紹介など、学校教育機関との連携を推進
	②新ビジネス創出支援	○県内自治体の首長や企業経営者等を参加者としたピッチイベントの開催（実証実験の場の提供） ○スタートアップが優先的に調達できる仕組みづくりの検討 ○県内でスタートアップを支援できる専門人材の育成
育成	③ノウハウ提供	○イノベーション拠点「SHIP」にスタートアップ支援の「ワンストップ相談窓口」を設置 ○ビジネスプランコンテストの開催と大きな成長につなげるための伴走支援の実施（成功事例の創出） ○静岡が他県をリードする先端産業や3次元点群データ等の先進的な取組とスタートアップとの融合の促進
	④ファイナンス	○エンジェル投資家やVCとのマッチングの支援 ○資金調達目標の設定の考え方を習得できる実践的セミナー等の開催
連携	⑤ネットワークハブ	○現存する県内のスタートアップを網羅的に把握し、随時、情報提供や情報収集を実施 ○スタートアップ支援関係者によるネットワークを構築し、「SHIP」がハブ機能の役割を担う
	⑥コミュニティ形成	○各地域においてスタートアップと支援者が有機的につながるコミュニティが形成されるよう、ネットワークを活用したサポート体制を構築 ○スタートアップ成功者との交流や、身近なロールモデルを知るイベントの開催

追加

## 見直し後（柱に「誘致」を追加）

柱	機能	主な取組方針・施策
誘致	⑦首都圏等と県内の橋渡し	(16)首都圏等のスタートアップとの共創促進 ③②首都圏共創拠点の設置・運営 ・CIC Tokyoに職員駐在 ③③県の施策や地域資源等の情報発信 ・Shizuoka Startup Dayの開催
		(17)県外・海外の関係機関と連携した誘致促進 ③④県出先機関や県外支援機関との連携 ・東京事務所や県外支援拠点との連携 ③⑤海外の関係機関との連携 ・海外大学等と連携したスタートアップ支援
環境整備	⑧環境整備	(18)県内にスタートアップを呼び込むための環境整備 ③⑥コミュニティの核となる拠点の創出 ・温泉旅館をリノベーションした拠点整備 ③⑦誘致を促進するための支援 ・VCと連携した資金調達支援

# [改訂後] 戦略のKPI/目標値

KPI	現状値 (2024年度)	2025年度	2026年度	2027年度	目標値 (2028年度)
① 県内スタートアップ数 (本社)	180社	200社 (+20)	220社 (+20)	240社 (+20)	<b>260社</b> (+20)
①-2 県事業により 県内拠点を設けた スタートアップ数 <span style="background-color: yellow;">新規</span>	0社	15社 (+15)	30社 (+15)	45社 (+15)	<b>60社</b> (+15)
② 資金調達総額	196億円	218億円 (+22)	240億円 (+22)	262億円 (+22)	<b>284億円</b> (+22)
③ 評価額100億円以上の スタートアップ	0社	—	—	—	<b>3社</b>

# 「静岡県スタートアップ支援戦略2025」の概要

## 施策方針

- 県内**で新たなスタートアップを創出・育成
- 県外**から呼び込むための環境の整備

## 重点取組

- 結び付ける施策**に注力
- 成功事例の創出**+横展開



## 戦略の4本柱

## 機能

## 目標/KPI

**創出**

種まき

**育成**

成長支援

**連携**

コミュニティ

**誘致**

呼び込み

起業家教育

新ビジネス創出支援

ノウハウ提供

ファイナンス

ネットワークハブ

コミュニティ形成

首都圏等と県内の橋渡し

環境整備

県内スタートアップ数  
(本社)

**R6**  
180社 ⇒ **R10**  
260社

R7以降県事業により  
県内に拠点を構えた数

**累計60社**  
(R10年度)

資金調達総額

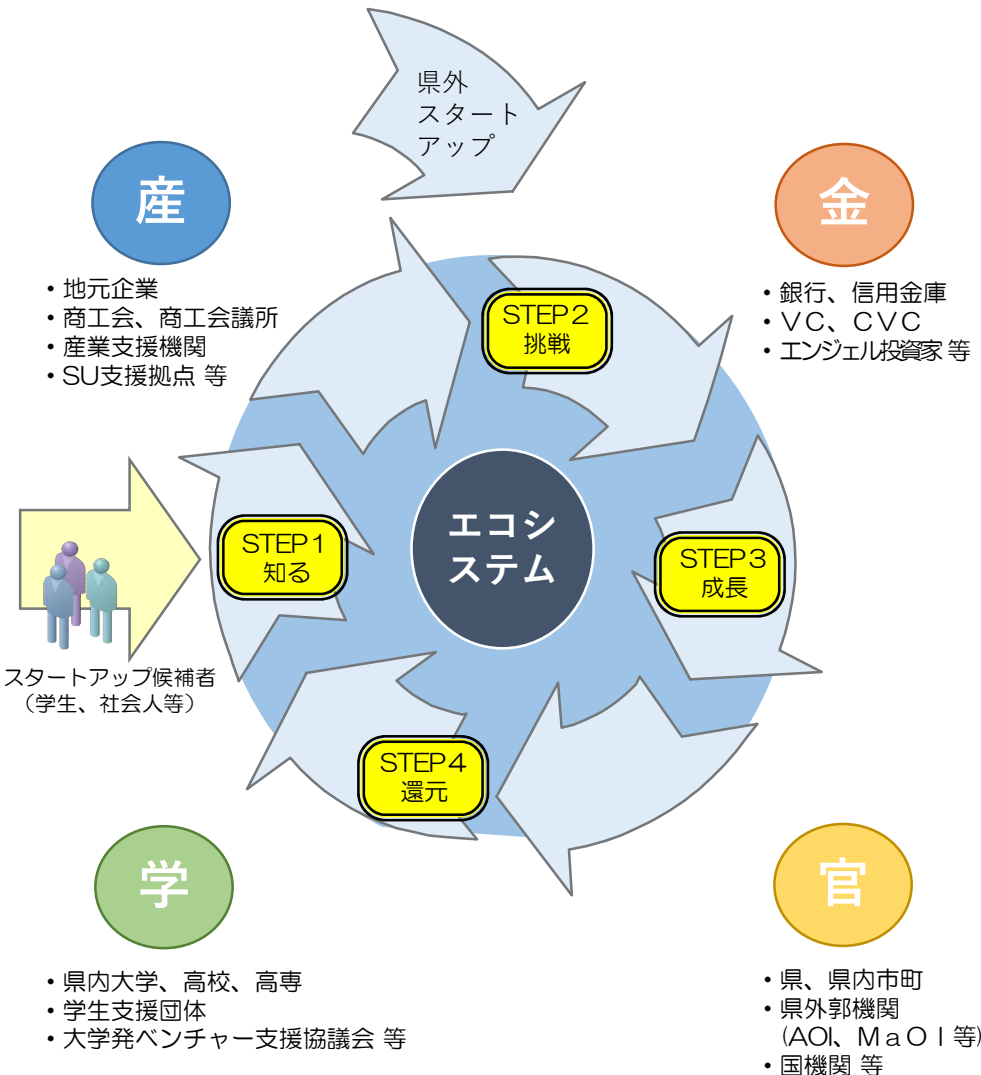
**累計284億円以上**  
(R10年度)

評価額100億円以上  
スタートアップ

**3社**  
(R10年度)

# スタートアップ・エコシステムの形成

静岡県から次々と**イノベーションとスタートアップを生み出す**ため、産学官金（スタートアップと企業、金融機関、投資家、専門家、自治体、支援団体など）の様々なプレイヤーが有機的につながる静岡版の「**スタートアップ・エコシステム**」を形成



## エコシステム形成に向けたロードマップ

人・場づくり 機運醸成	1~3年目 (R6~8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内企業や県民が、SUを身近に感じるように<b>SUの誘致や創出支援に注力</b></li> <li>○県内企業や県民の<b>機運醸成</b></li> <li>○<b>成功事例の創出、コミュニティ形成支援</b></li> <li>○学校等と連携した次世代の<b>人材育成</b></li> </ul>
ネットワーク強化 成長の加速	4~6年目 (R9~11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東部・中部・西部のコミュニティが有機的に機能し、<b>県内各地にSUが増加</b></li> <li>○支援拠点を核とした<b>ネットワーク強化</b></li> <li>○SUの<b>更なる成長支援と共創促進</b></li> <li>○将来の選択肢として<b>SUが浸透</b></li> </ul>
エコシステムの 形成・発展	7~9年目 (R12~14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>成長したSUが支援者</b>として、新たなSUを生み育てる<b>エコシステムが形成</b></li> <li>○静岡発のSUが<b>国内外で活躍</b></li> <li>○国内外のSUが<b>静岡に集積</b></li> <li>○SUを志す者が増加、<b>起業の裾野が拡大</b></li> </ul>
目標	10年後の姿 (R15)	<p>◎<b>SUにとってフレンドリーな県</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SUと共創しようという意識が高い</li> <li>・SUが支援者とながらやすい</li> <li>・起業が将来の選択肢の1つになる</li> </ul>

# スタートアップ施策の全体像 (令和7年度)

- VCと連携したスタートアップに対する資金調達支援を新たに創設し、全県で展開する
- 資金調達支援と各施策の連携を図り、スタートアップの支援や誘致を強力に推進する

## 創出 (種まき)

### 新ビジネスの需要創出、初期顧客の創出

- ① **TECH BEAT Shizuoka** **拡充**  
県内企業とのマッチング (需要創出、県内企業の課題解決)
- ② **パブリックピッチ** **拡充(東部、中部)**  
県内自治体とのマッチング  
(需要創出、地域課題の解決)
- ③ **県による優先調達** **新規**  
県庁各部署とのマッチング  
(初期顧客の創出、県施策の課題解決)



TECH BEAT Shizuoka

### コミュニティの形成、ネットワーク構築

## 連携 (サポート)

- ① **ふじのくに“SEAs”** **拡充**  
支援者のネットワーク組織、県全体で一体的にSUを支援
- ② **ワンストップ相談窓口** (SHIPへ相談員配置)  
SUの活動支援 (相談、助言、県内企業等の紹介、場の提供)
- ③ **コミュニティ形成支援** **新規**  
県内各地域にSUのコミュニティ形成を支援  
(支援拠点間の連携)



### スタートアップエコシステム

### ベンチャーキャピタル (VC) と連携した資金調達支援

**新規**

### 資金調達支援

県外スタートアップの本県への誘致促進、県内スタートアップの成長を資金面から支援 等

## 育成 (成長支援)

### 実証フィールドの提供 スタートアップの発掘・育成

- ① **実証実験サポート事業** **新規**  
実証フィールドの提供と実験費用のサポート
- ② **ファンドサポート採択SUに対する支援** **新規**  
成長支援、財務管理体制強化支援
- ③ **ネクストイノベーター創出プロジェクト“FuJI”**  
高校生対象の起業家育成プログラム
- ④ **大学発ベンチャーの発掘・育成**  
**インキュベートセンターの管理運営**  
大学のシーズと企業のニーズをマッチング 等



ネクストイノベーター  
創出プロジェクト“FuJI”

### 首都圏と県内の橋渡し 東部・伊豆地域への呼び込み

## 誘致 (呼び込み)

- ① **首都圏共創拠点の設置・運営**  
CIC Tokyoへ駐在職員2名配置、情報発信・情報収集  
首都圏等のスタートアップと県内企業とのマッチング
- ② **Shizuoka Startup Dayの開催** **新規**  
県支援策・次世代産業関連プロジェクト等のPR
- ③ **東部・伊豆への拠点創出** **新規**  
温泉旅館等を活用したSU拠点の創出
- ④ **海外スタートアップの誘致** **新規**  
インド等のSUの県内進出支援




CIC Tokyo



# 静岡県スタートアップ支援戦略の推進

○創業前から産業化まで、**成長フェーズに合わせた切れ目のない支援**

※赤はR7新規

区分	プレシード (創業前)	シード (創業・開発)	アーリー (事業化)	ミドル (産業化)
創出 (種まき)		優先調達（公共調達推進） <16,500千円>		
		パブリックピッチ <12,000千円>		
		TECH BEAT Shizuoka <35,000千円>		
育成 (成長支援)	ネクストイノベーター創出 <18,000千円>			
		大学発ベンチャー発掘・育成 <15,000千円>		
			インキュベートセンター <3,900千円>	
			実証実験サポート <40,000千円>	
連携 (サポート)	支援ネットワーク「ふじのくに“SEAs”」 <19,200千円>			
	ワンストップ相談窓口（イノベーション拠点「SHIP」） <51,800千円>			
誘致 (呼び込み)	Shizuoka Startup Day <10,000千円>			
	首都圏スタートアップとの共創拠点 <8,600千円>			
資金調達	 <b>ファンドサポート事業</b> <450,000千円>			

# [令和7年度の取組] 資金調達

○ VCと連携したスタートアップに対する**資金調達支援(ファンドサポート事業)**を呼び水にして、首都圏における共創拠点(CIC Tokyo)等を活用し、**スタートアップ誘致を強力に推進**する。

## ベンチャーキャピタル（VC）と連携した資金調達支援

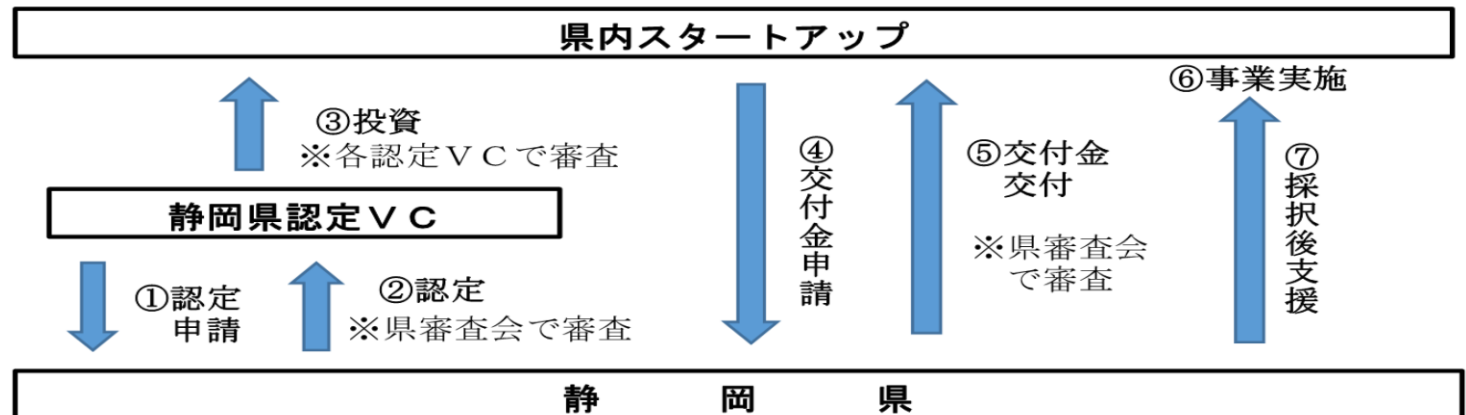
新規

R7当初:4億5,000万円

- ・ 県が認定したベンチャーキャピタル(VC)から投資を受けたスタートアップ(SU)に対して交付金を交付する
- ・ SUの資金調達支援により、**県外からのSU誘致を促進**するとともに、**県外の投資マネーを県内に呼び込む**

区分	内容
対象者要件	県内に本社又は主たる事業所を置く中小事業者(登記必要) ※シート枠は起業から5年以内で研究開発を実施を付与
対象事業要件	県内で実施する事業 ※次世代産業関連分野や地域課題解決に資する等の要件を付与
交付率	【シード枠】 <b>全体事業費の2/3</b> (認定VCから受ける投資額の2倍以内) 【一般枠】 <b>全体事業費の1/2</b> (認定VCから受ける投資額と同額以内)
交付上限額	【シード枠】 <b>1千万円</b> 、【一般枠】 <b>4千万円</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">各枠の交付は1回限り</span>
予算規模	<b>4.5億円</b> (シード枠・一般枠トータルで10件程度を想定)
採択後のSU支援	<成長支援> 専門家アドバイス、マッチング支援、事業展開支援 等 <財務管理体制強化> 適時の経理指導、定期的な検査 等

### <事業スキーム>



# [令和7年度の取組] 創出(種まき) 1/2

○ 県内企業や行政(県・市町)等が抱える課題とのマッチングを促し、**スタートアップが展開する新たなビジネスに対する需要の創出と県内企業・行政の課題の解決**を図る

## ① TECH BEAT Shizuokaの開催

拡充

県内企業等とのマッチング

R7当初:3,500万円

スタートアップと県内企業とのマッチングにより、新たなビジネスの需要創出と県内企業の課題解決を図る

### 本イベント

日時：令和7年7月24日(木)～26日(土)

会場：グランシップ

### 【拡充の方向性(検討中)】

#### ・イベント規模の拡大

⇒ 出展スタートアップ、来場者数の増  
未使用フロアの活用、会場の分散化

#### ・イベントの質の充実

⇒ 県内企業経営者等意思決定者の来場促進  
県内の大・中堅企業のブース出展、共創促進  
ピッチ会場と商談会場の一体化  
県内企業とスタートアップの交流の場の創出 等

### アフターイベント

開催時期：本イベント終了後(秋以降を予定)

会場：県東部、中部、西部(3回程度を予定)

内容：トークセッション、講演、ワークショップ  
スタートアップによるピッチ等を予定

### 【TECH BEAT Shizuoka2025の目標】

	来場者数	商談件数	出展 スタートアップ	顧客 満足度
2024 実績	7,622名+	431件 (目標420件)	139社 (うち新規40%)	77.6% (目標75%)
	↓	↓	↓	↓
2025 目標	10,000名+	500件	170社 (うち新規30%)	80%



TECH BEAT Shizuoka2024の様子

# 【令和7年度の取組】 創出（種まき） 2/2

## ② パブリックピッチ

拡充

県内市町とのマッチング

R7当初:1,200万円

パブリックピッチを県全域に拡充し、県内市町が抱える地域課題とスタートアップの革新的技術・サービス等のマッチングを図る（R6は西部のみで実施）

会場：東部、中部、西部

参加者：市町、スタートアップ 等

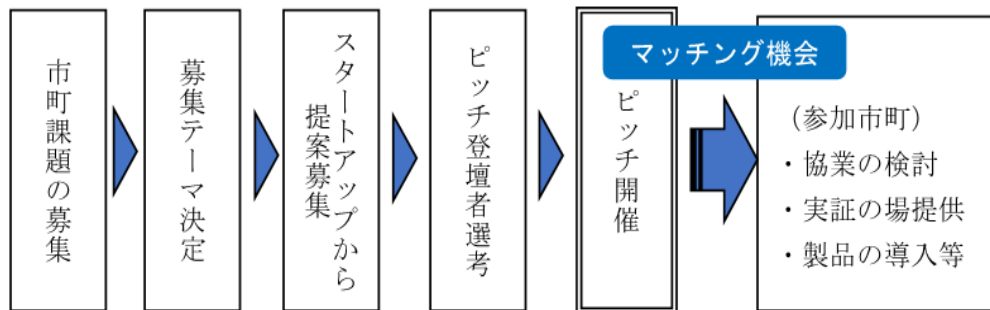
※ 首長など幹部の参加を促す

その他：マッチング後は、各市町が協業の検討や製品の導入等を実施



ピッチイベントの様子

【パブリックピッチのイメージ】



### スタートアップ（登壇者）

- ・ 決定権のある者へのアピール機会
- ・ 行政との連携等による信用力向上
- ・ 行政のリソース活用の期待（公共の場での実証など）

### 県内市町（聴講者）

- ・ ニーズに沿ったピッチを聴講
- ・ スタートアップの持つ最新技術やサービスを活用した地域課題解決

## ③ 県による優先調達

新規

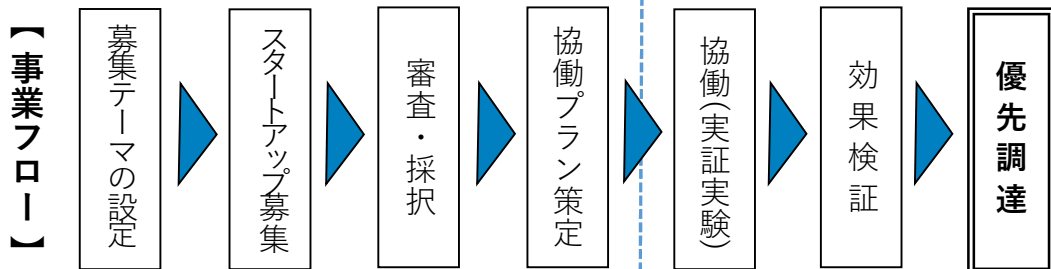
県庁各部局とのマッチング

R7当初:1,650万円

県庁の各部局から行政課題を募集し、その解決につながるプロダクトを有するスタートアップと協働(実証実験)を実施、効果があれば県が率先して導入（優先調達）

(R7)

(R8)



※ 地方自治法施行令第167条の2第1項 第4号に基づく随意契約の規定を活用

新商品の生産により、新事業分野の開拓を図る者として認定を受けた者から、競争入札によらず随意契約で新商品を調達できる

### 【東京都の事例】



農業 × 遠隔ロボット



まちづくり × XR

# 【令和7年度の取組】 育成（成長支援） 1/2

- 実証フィールドの提供等により**スタートアップの成長を後押し**するとともに、**地域課題の解決**につなげる
- 高校生対象の起業家育成プログラムや大学発ベンチャーの支援等により、**次代を担う起業家の育成**を図る

## ① 実証実験サポート事業

新規

R7当初:4,000万円

県内で実証実験を行うスタートアップに対して、**実証フィールドの提供や費用のサポート**等を行う

**対象**：県内で実証実験を行うスタートアップ

- ・ **TECH BEAT** でマッチングしたSU
- ・ **パブリックピッチ** でマッチングしたSU
- ・ **地域課題の解決** に取り組むSU等

**支援内容**：実証実験に必要な経費の助成（10件程度）

補助率1/2、上限200万円

実証フィールドの斡旋、各種調整、PR支援 等

## ② ファンドサポート採択SUに対する支援

新規

採択したスタートアップが着実に成長できるよう、**財務管理のチェックや専門家によるアドバイス等の伴走支援**を実施

### ・ 成長支援

専門家アドバイス、マッチング支援  
事業展開支援（広報、イベント出展支援）等

### ・ 財務管理体制強化に対する支援

監査法人によるモニタリング・助言・指導  
定期的な財務検査 等

## 【本県の主な地域資源（実証フィールド）】

- 次世代産業関連プロジェクトにおける取組  
（ファルマ、フーズ、AOI、MaOI、フォトン、CNF等）
- 豊富な自然・観光資源（温泉、富士山、駿河湾、浜名湖等）
- 盛んな一次産業（農業、林業、水産業）
- 集積する製造業（自動車産業、医療機器、楽器等）



ファルマバレーセンター

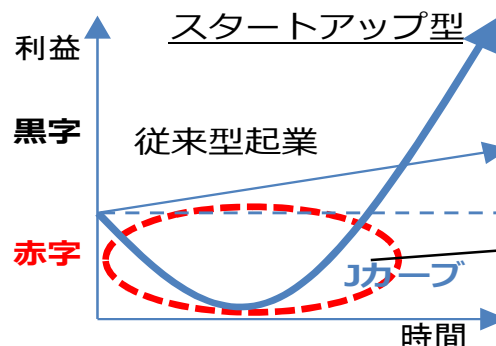


MaOI PARC



森林資源

## 【スタートアップの成長曲線】



SUにとって大変な時期に  
資金面に加え、**成長面、  
財務管理面から支援**

## ③ ネクストイノベーター創出プロジェクト

R7当初:1,800万円

【プロジェクトの様子】

次代の起業家を育成するため、県内の高校生を対象に8ヶ月間の起業体感プログラムを実施し、**起業に向けたマインドセットの醸成や必要な知識の取得等**を図る

**対象**：高校生（県内在住又は県内高校に通学）

**参加数**：20人程度

**内容**：① **スタートアップキャンプ**（夏休み）

マインド醸成（起業家による講演等）  
基礎スキル取得（事業アイデアの個別相談等）  
仲間とのネットワーク形成

② **スタートアップツアー**（冬）

先端施設等の見学、起業家による講演  
成果発表（中間）

③ **講義、伴走支援**（随時）

トップ起業家等による講義  
事業アイデア相談、フォローアップ 等



トップ起業家との交流/対話（成田修造氏、鈴木啓太氏）



プレゼンテーション大会



## ④ 大学発ベンチャーの発掘・育成、 インキュベートセンターの管理運営

R7当初:1,890万円

### ・大学発ベンチャーへの支援

コーディネーター（2名）の配置  
大学発ベンチャー支援協議会の開催  
（県内16大学が参加：情報共有、意見交換など）  
ラウンドテーブルの開催  
（大学のシーズと企業のニーズをマッチング） 等

### ・インキュベートセンターの管理運営

安価な実験・研究スペースを提供し、  
創業者（スタートアップ等）を支援  
設置場所：沼津（10室）  
富士（10室）  
浜松（10室）

※工業技術支援センター内に設置



ラウンドテーブルの様子

# [令和7年度の取組] 連携（サポート） 1/2

- 県内各地域のスタートアップ支援拠点や「ふじのくに“SEAs”」のネットワークを活用し、**東部・中部地域にも西部地域のようなコミュニティ形成**を後押し
- 県内の**スタートアップ支援拠点施設間の連携を強化**し、県全体におけるスタートアップ支援機運醸成につなげる

## ① スタートアップ支援ネットワーク ふじのくに“SEAs”

拡充



R7当初:1,920万円

スタートアップ支援に係る様々なプレイヤーがつながり、  
産学官金が一体となってスタートアップの支援を図る

会 員：111社・団体（R6年10月末時点）  
 [産] 県内企業、産業支援機関 [学] 県内大学、高校  
 [官] 県内市町、外郭団体 [金] 銀行、信金、VC 等

- 主な活動：①**スタートアップと支援者(会員)のマッチング**  
 ②**全体会の開催**（R7年度は**県東部で開催予定**）  
 ③**パートナー拠点会議の開催**  
 （FUSE、ぬましんCOMPASS、LtG、コ・クエーションスペース）  
 ④**ニュースレターの配信**  
 県内スタートアップに関する情報収集、情報発信

## ② ワンストップ相談窓口の設置



スタートアップからの様々な相談に対応するワンストップ  
相談窓口を設置し、スタートアップの活動を支援

設置場所：県イノベーション拠点 SHIP（静岡市葵区呉服町）  
 相談体制：相談員3名を配置 ※受付時間：平日12時～20時  
 相談事例：事業計画のブラッシュアップ  
 投資家へのアプローチ方法  
 協業先、専門家の紹介 等

### 【Startup Forum in 静岡市】

日時：R6年7月10日（水）  
 会場：クーポール会館（静岡市葵区）  
 主な内容：基調講演（株Voicy CEO 緒方憲太郎氏）  
 県SU施策紹介、拠点施設活動紹介、交流会 等

### 【Startup Forum in 浜松市】

日時：R7年2月13日（木）  
 会場：ホテルオークラアクトシティ（浜松市中央区）  
 主な内容：基調講演（GO CEO 三浦崇宏氏）  
 トークセッション（知事、県フェローほか）  
 県SU施策紹介、交流会 等



R7当初:5,180万円

 株式会社エル・ティー・エス 執行役員 <b>中島 健太</b> 静岡での10年以上の事業運営 やDX支援を通じて得た経験を 活かしながら幅広くご相談に 応じます。	 株式会社エル・ティー・エス マネージャー <b>北川 朝輝</b> 自身の創業経験を活かして、 スタートアップの事業戦略相 談や資金調達相談等を主に担 当します。	 株式会社エル・ティー・エス コンサルタント <b>阿部 祐大</b> 会員同士の交流・ニーズや シーズに応じたマッチング支 援など、相談者のアクション を力強く支援します。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# [令和7年度の取組] 連携（サポート） 2/2

## ③ 各地域におけるコミュニティ形成の後押し

新規

各地域のスタートアップ支援拠点を核としたコミュニティ形成を支援。拠点間の連携を強化し、県全域に機運醸成を図る

区分		東 部	中 部	西 部
主な拠点施設	施設名称	○LtG（三島市） ○COMPASS（沼津市ほか） 	○SHIP（静岡市） ○コ・クリエーション（静岡市） 	○FUSE（浜松市） 
	主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SU入居</li> <li>・SU関連イベント開催（講座開催、ピッチイベント等）</li> <li>・起業家支援プログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SU関係専門相談員配置</li> <li>・SU関連イベント開催（講座開催、TECH BEAT前夜祭等）</li> <li>・情報発信（HP等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SU入居</li> <li>・SU関連イベント開催（FUSEで随時開催）</li> <li>・SU専用の機能（ファブ等）</li> </ul>
県の主な取組	TECH BEAT	関連イベント開催 （下期予定）	本イベント （7/24～26開催）	関連イベント開催 （下期予定）
	ピッチ	県内市町向けピッチ <span>新規</span>	県内市町向けピッチ <span>新規</span>	県内市町向けピッチ
	SEAs	全体会の開催 <span>初開催</span> （地域会併催） <span>新規</span>	地域会の開催 <span>新規</span>	地域会の開催 <span>新規</span>
		県内スタートアップ個別訪問、会員（県内企業等）の個別訪問 <span>新規</span> 、ニュースレターの配信		
実証実験	県内各地をフィールドとしたスタートアップの実証実験に対する支援 <span>新規</span>			



# [令和7年度の取組] 誘致 (呼び込み) 1/2

## ① 首都圏共創拠点の設置・運営

R7当初:860万円

県職員がCIC Tokyoに駐在し、首都圏等のスタートアップと県内企業・自治体等とのマッチングや誘致を推進

### CIC Tokyo

#### <施設概要>

- ・世界8都市に展開する都心型の**大型イノベーションセンター**
- ・**約300の企業・団体が入居**。うち**半数がスタートアップ**、他は大企業やVC、海外政府出先機関等
- ・毎日、ピッチイベントやセミナー等のイベントを数多く開催



#### <所在地>

東京都港区 虎ノ門ヒルズビジネスタワー

#### 【駐在の体制】

- ・R6.6からスタートアップ共創推進室長が駐在開始
- ・R6.12に民間の専門人材(任期付職員)を採用し、2名体制



長谷川室長



佐谷主幹  
(専門人材)

#### <駐在職員の役割>

- 首都圏等のスタートアップと県内企業・自治体等とのマッチング
- 県内スタートアップと首都圏支援者(VC等)とのマッチング促進
- 首都圏スタートアップ等の本県への誘致促進 等

## ② Shizuoka Startup Dayの開催

新規

R7当初:1,000万円

首都圏において本県施策やプロジェクト等を大々的にPRして、スタートアップとのマッチングや誘致を促進

#### <イベントの概要> ※検討中

開催時期：R7年10月頃

場所：東京都内(TIB等)

内容：①県のスタートアップ関連施策

- ・県事業の紹介等

②次世代産業関連プロジェクト関係

- ・各プロジェクト(PJ)の紹介
- ・各PJ・市町からのリバースピッチ
- ・首都圏スタートアップからのピッチ

#### 【主な次世代産業関連プロジェクト】

プロジェクト名	内容
A O I	先端農業
M a O I	マリンバイオ
C h a O I	茶業
ファルマバレー	医療・福祉機器
フォトンバレー	光関連技術
C N F	セルロースナノファイバー
ウェルネス	食品・ウェルネス産業



セミナーのイメージ



個別面談のイメージ

## ③ 東部・伊豆への拠点創設 (東部・伊豆地域へのスタートアップの呼び込み)

新規

スタートアップが集う拠点の創設と実証フィールドの提供により、東部・伊豆地域への誘致を推進

### 温泉を活用した拠点の創設

- 地域課題解決とICOIプロジェクトの発展を促進するため、新たに**温泉旅館オフィス事業**を展開

#### < R 6 年度 >

- ・地域資源活用アドバイザー委嘱 (**嬉野温泉 和多屋別荘：小原氏**)
- ・課題整理、可能性調査の実施  
⇒ 今後の事業展開の**核となる事業者を発掘**

#### < R 7 年度 >

- ・伊豆の温泉旅館を活用した**オフィス化モデルの構築実証**  
⇒ オフィス化計画の立案や、入居企業の募集等を支援  
スタートアップの入居促進 等

### 地域資源を活用した実証フィールドの提供

- 東部・伊豆地域の**地域資源を最大限に活用し**、実証実験サポート事業等により誘致を推進

**東部**…CNF、AOI(農業)、ファルマ(医療健康産業)、富士山、水産業(ニジマス、マアジ) 等

**伊豆**…観光業、温泉・旅館、自然(ジオパーク)、FAOI(林業)、水産業(海洋実証フィールド) 等



温泉旅館を活用したスタートアップ拠点の事例  
< 和多屋別荘 (佐賀県嬉野市) >



伊豆の温泉

## ④ 海外スタートアップの誘致

新規

海外の大学やスタートアップ支援機関等と連携を図り、海外スタートアップを積極的に誘致

### < 連携事例 >

R 6 年12月：**インド グジャラート大学**と**MOU締結** (覚書：双方のスタートアップ支援の取組を相互に連携・協力)

R 6 年 9 月：**ブルーテッククラスターアライアンス** (世界的な海洋産業クラスターの連携組織) への**MaOI 機構**の加盟  
(駿河湾を有する静岡に海外スタートアップ・投資家を呼び込み)

R 6 年 7 月：**TECH BEAT Shizuoka**に**インド、台湾、韓国、中国(清華大学)**のスタートアップが出席



グジャラート大学MOU締結



ブルーテッククラスターアライアンス加盟